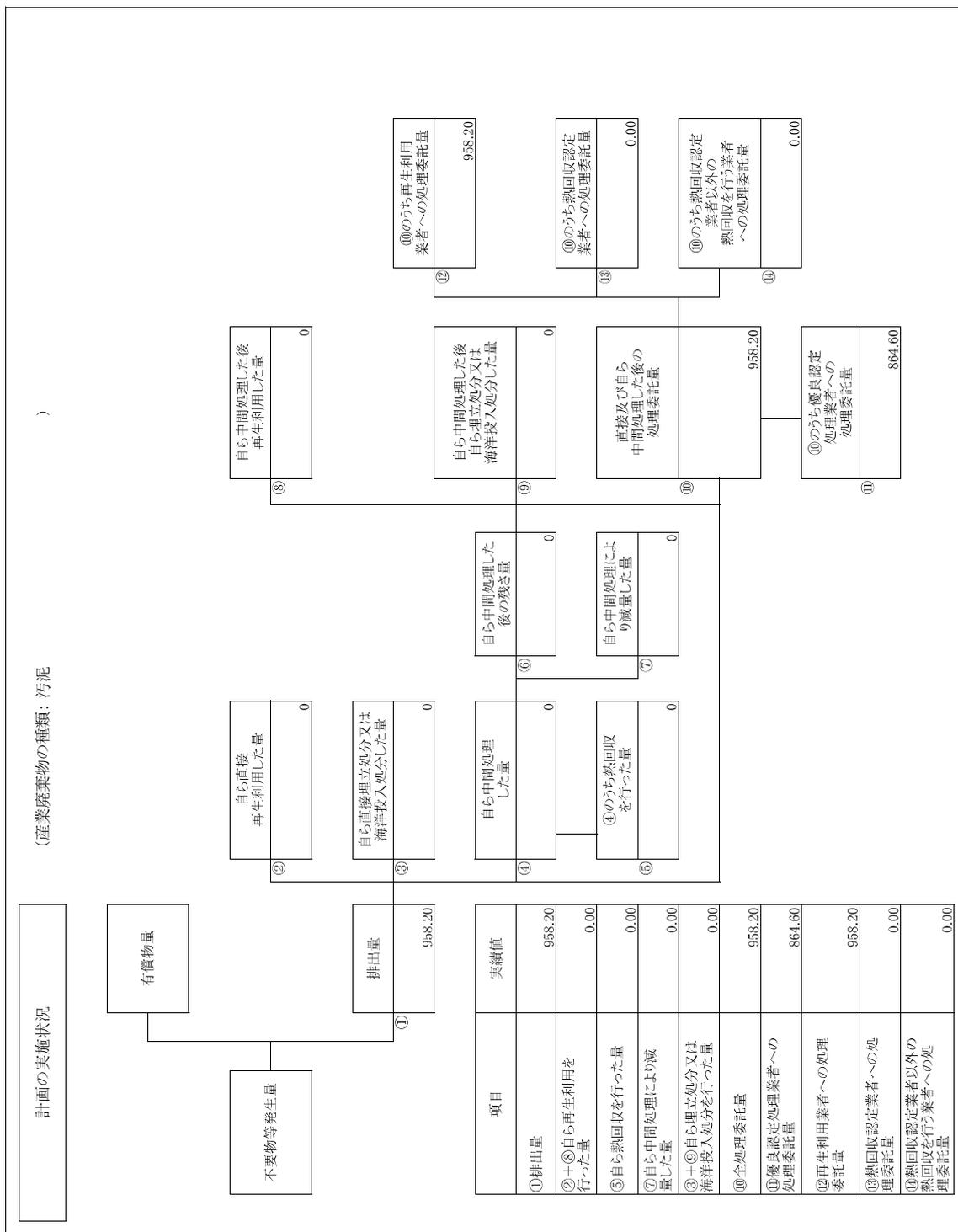
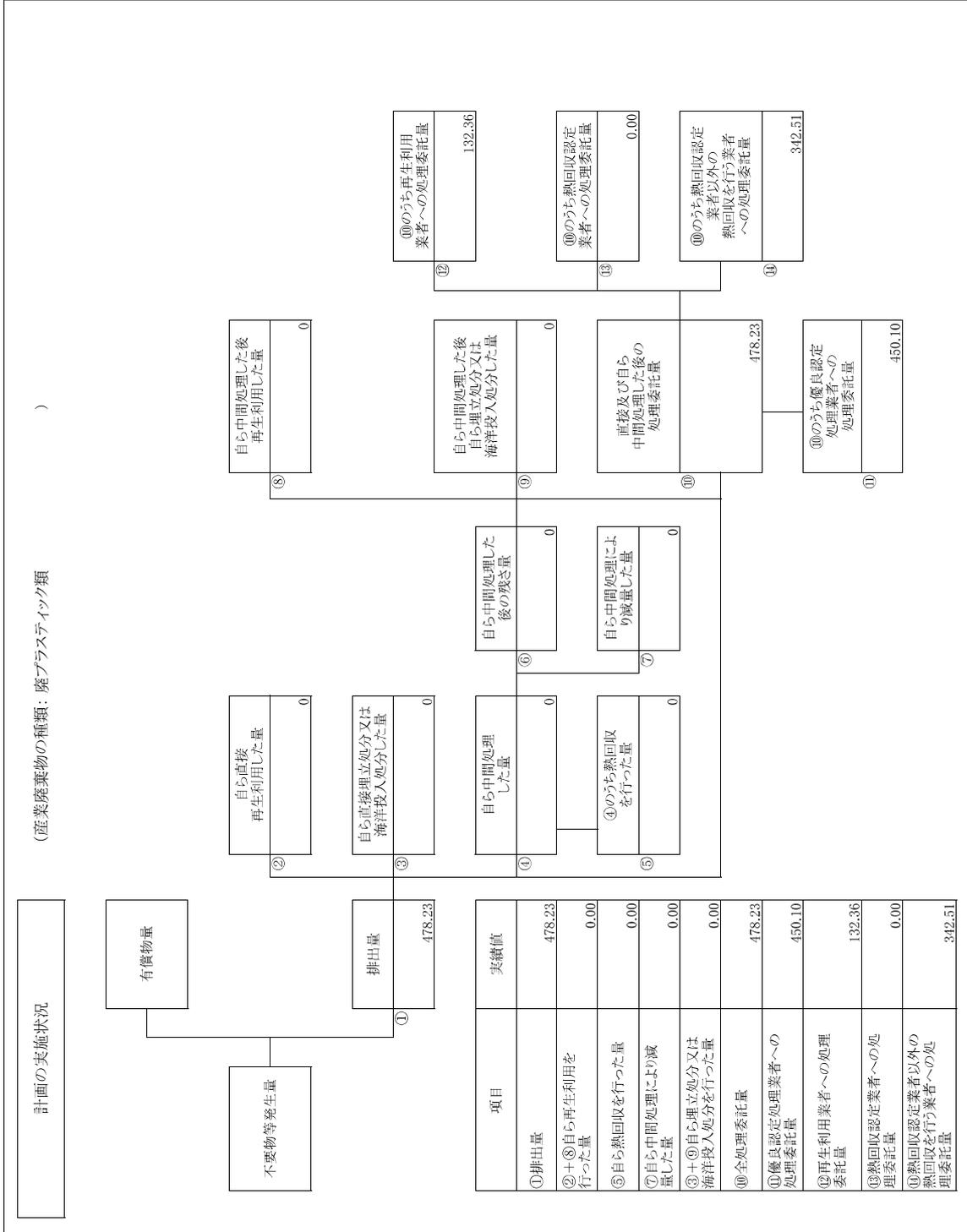
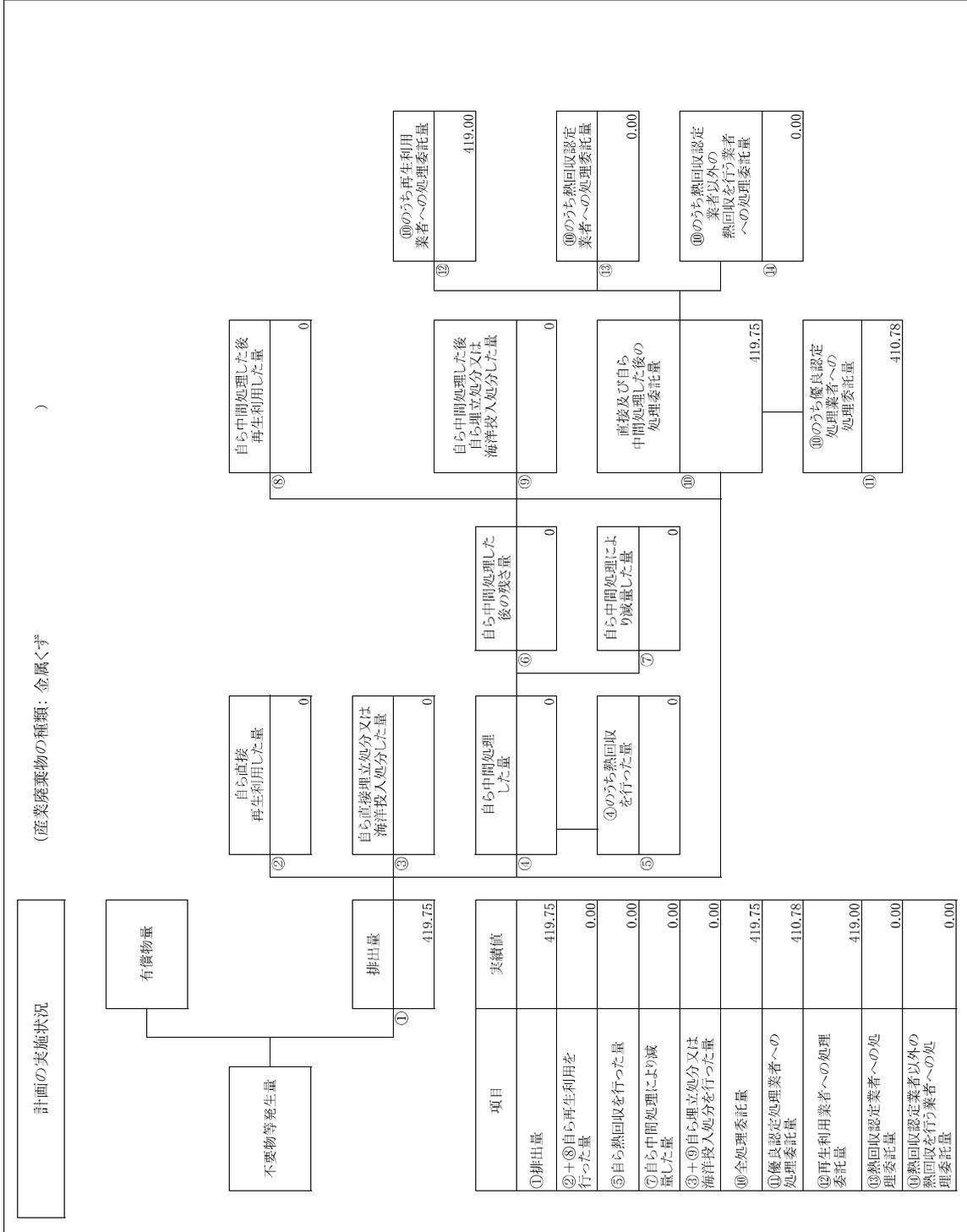
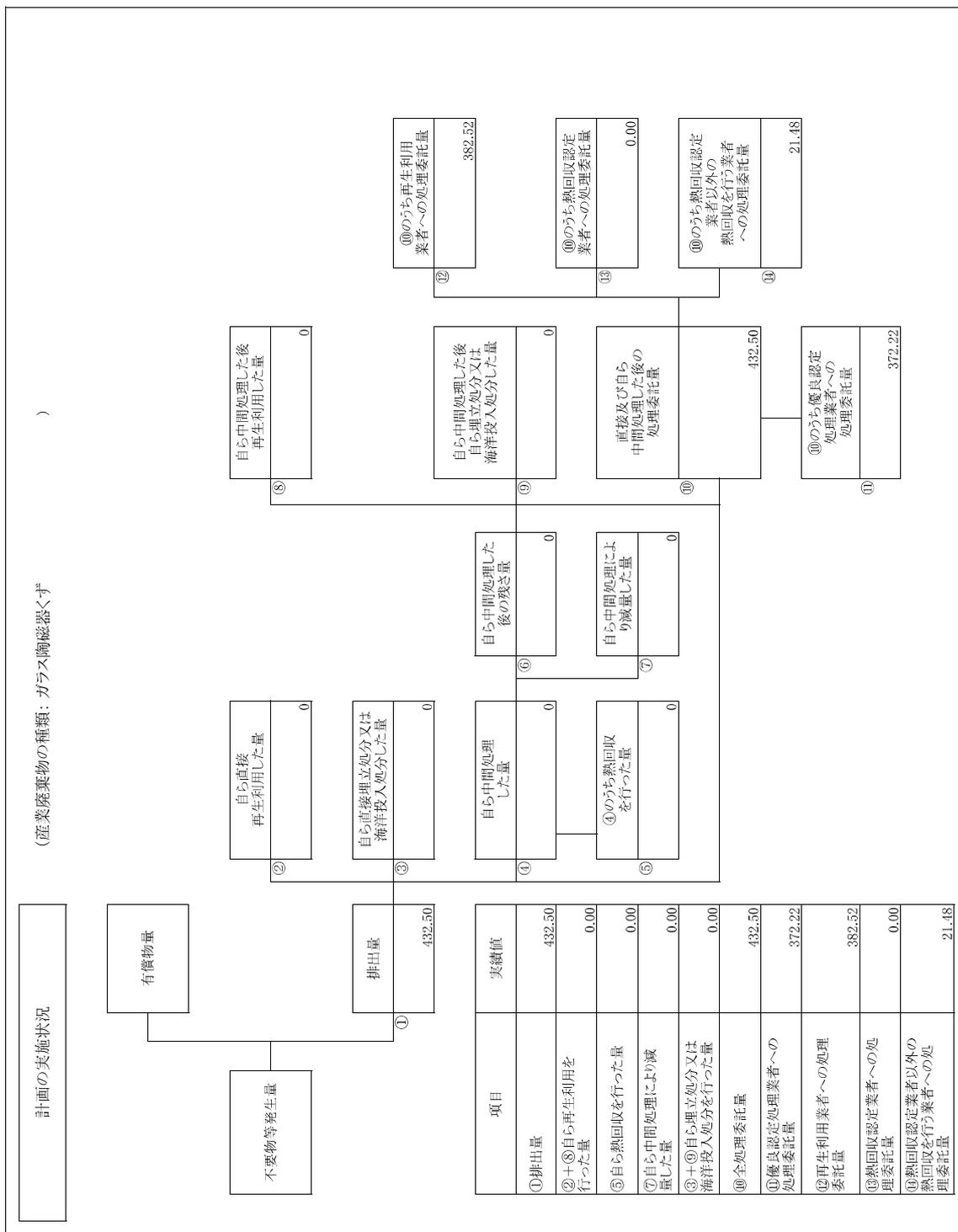


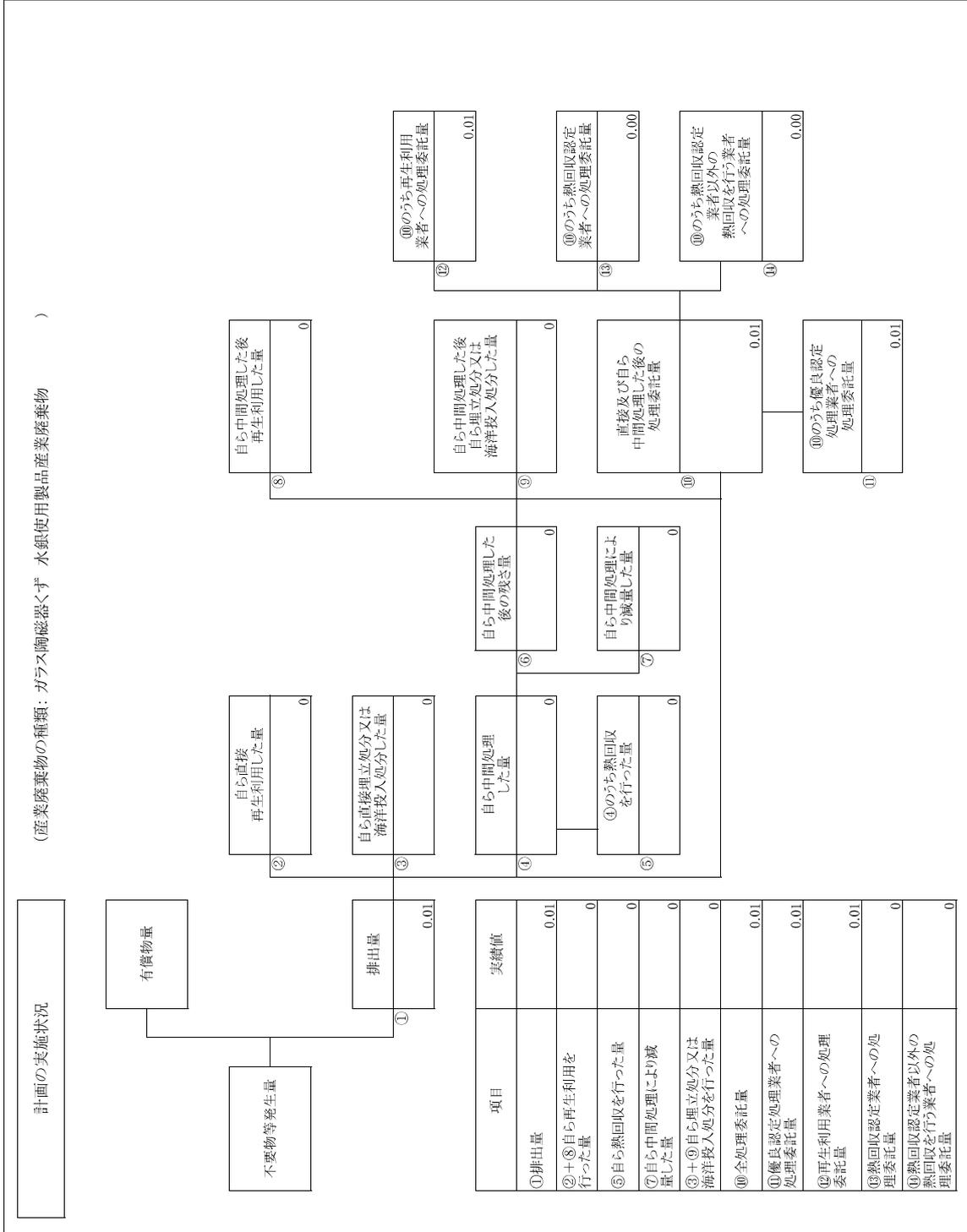
産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
東京都知事 小池百合子 殿			令和6年6月13日
提出者			
住 所 東京都立川市泉町935-28			
氏 名 大和ハウス工業株式会社 東京西支店			
支店長 稲村 敏伸			
電話番号 042-525-0721			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 東京西支店		
事業場の所在地	東京都立川市泉町935-28		
事業の種類	06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	5719.31t	全 処 理 委 託 量	5719.31t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5606.99t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5443.77t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	186.32t
※事務処理欄			

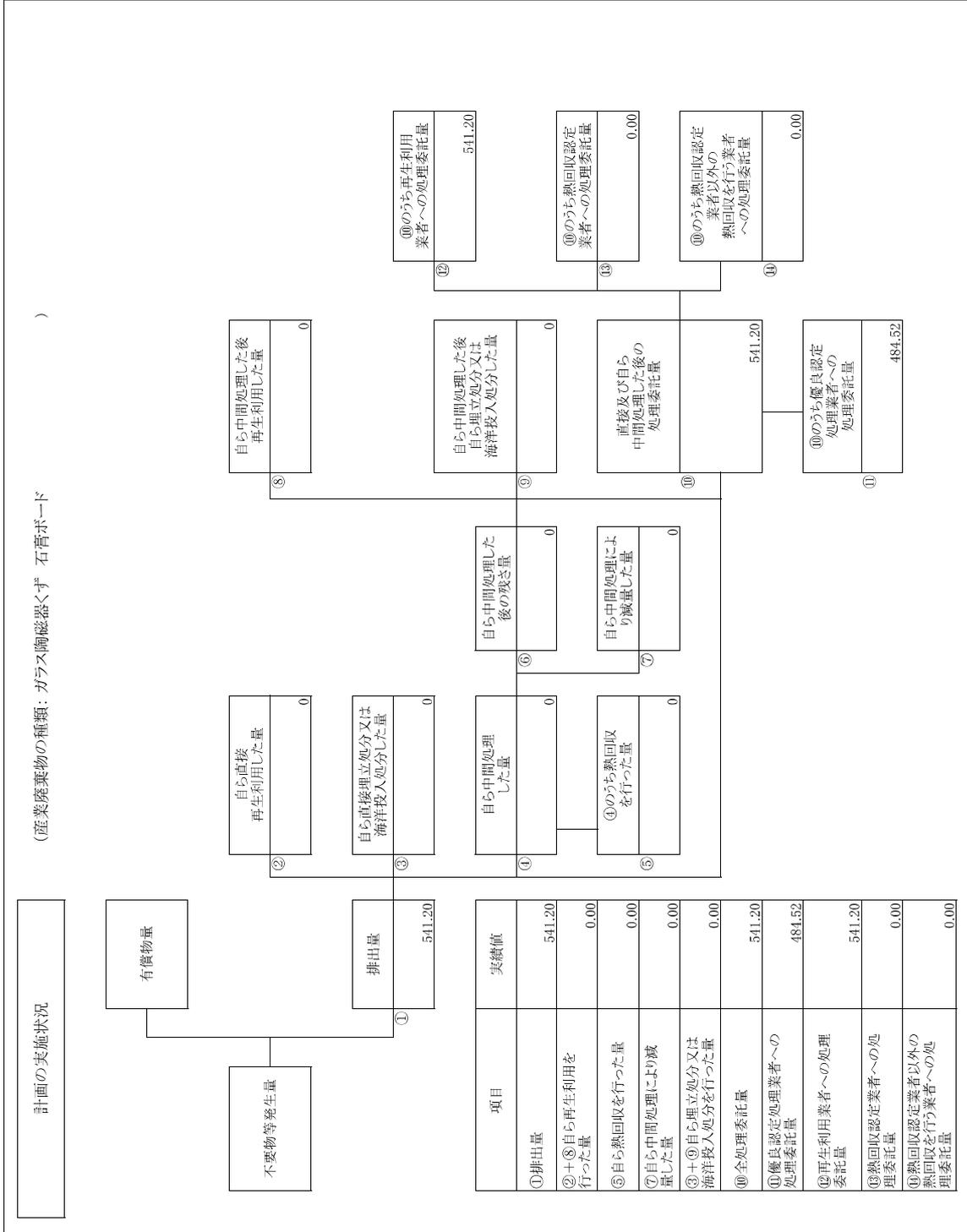






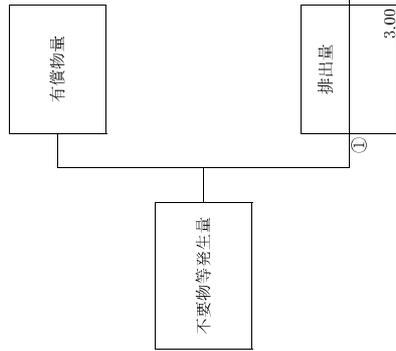






計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず 石綿含有産業廃棄物 )



②	自ら直接再生利用した量	0
③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
④	自ら中間処理した量	0
⑤	④のうち熱回収を行った量	0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦	自ら中間処理により減量した量	0
⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0

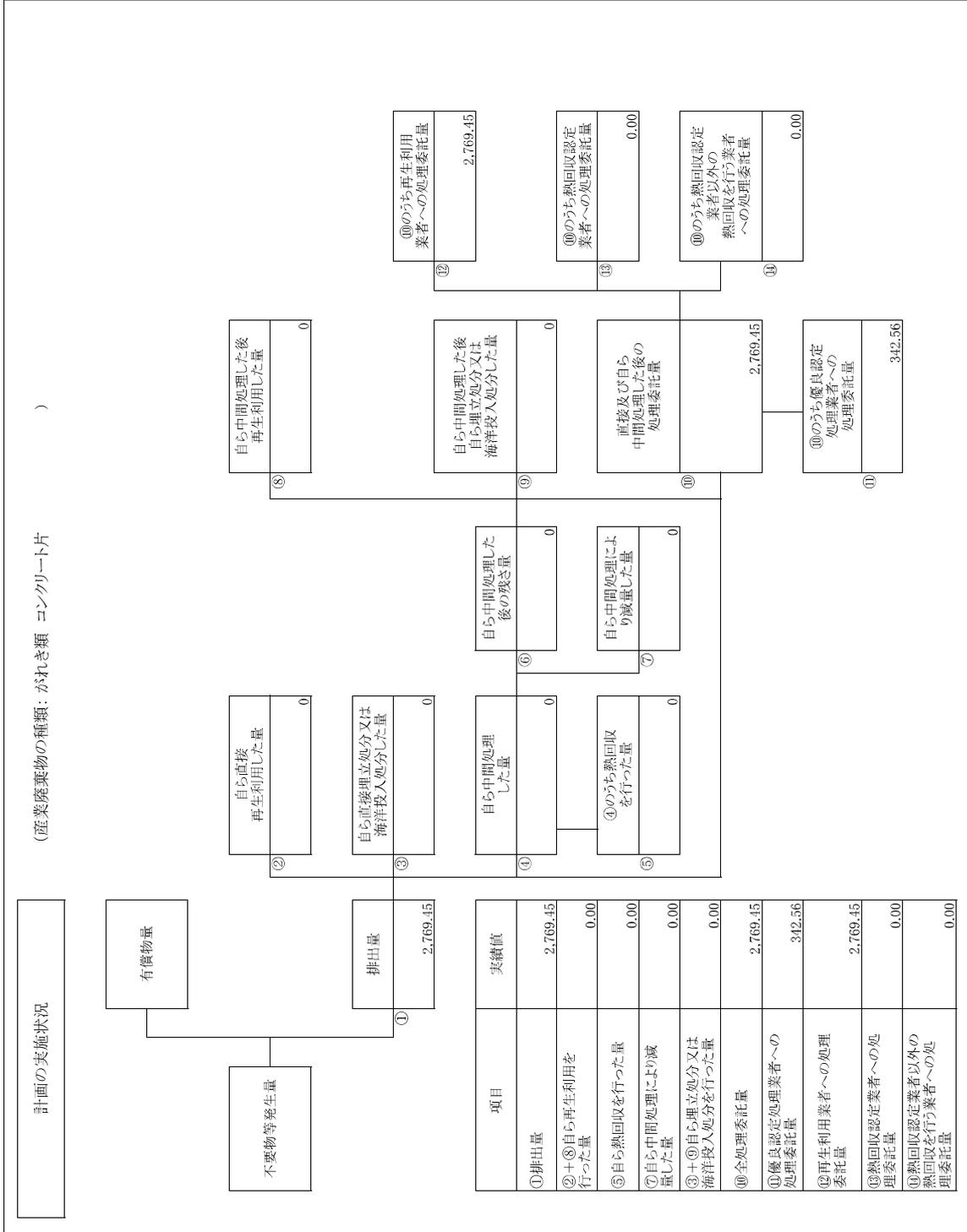
項目	実績値
①排出量	3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

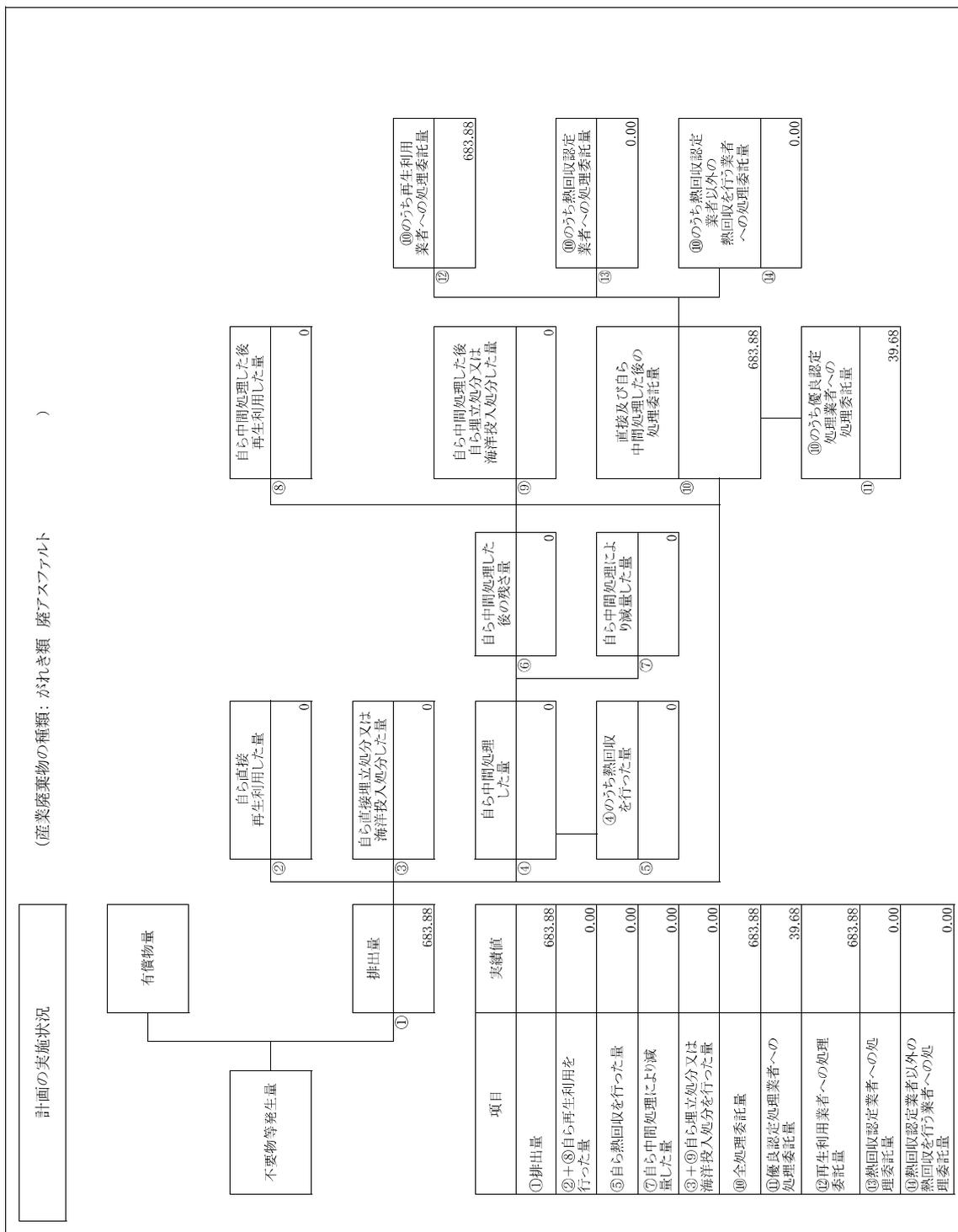
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.00
-------------------	------

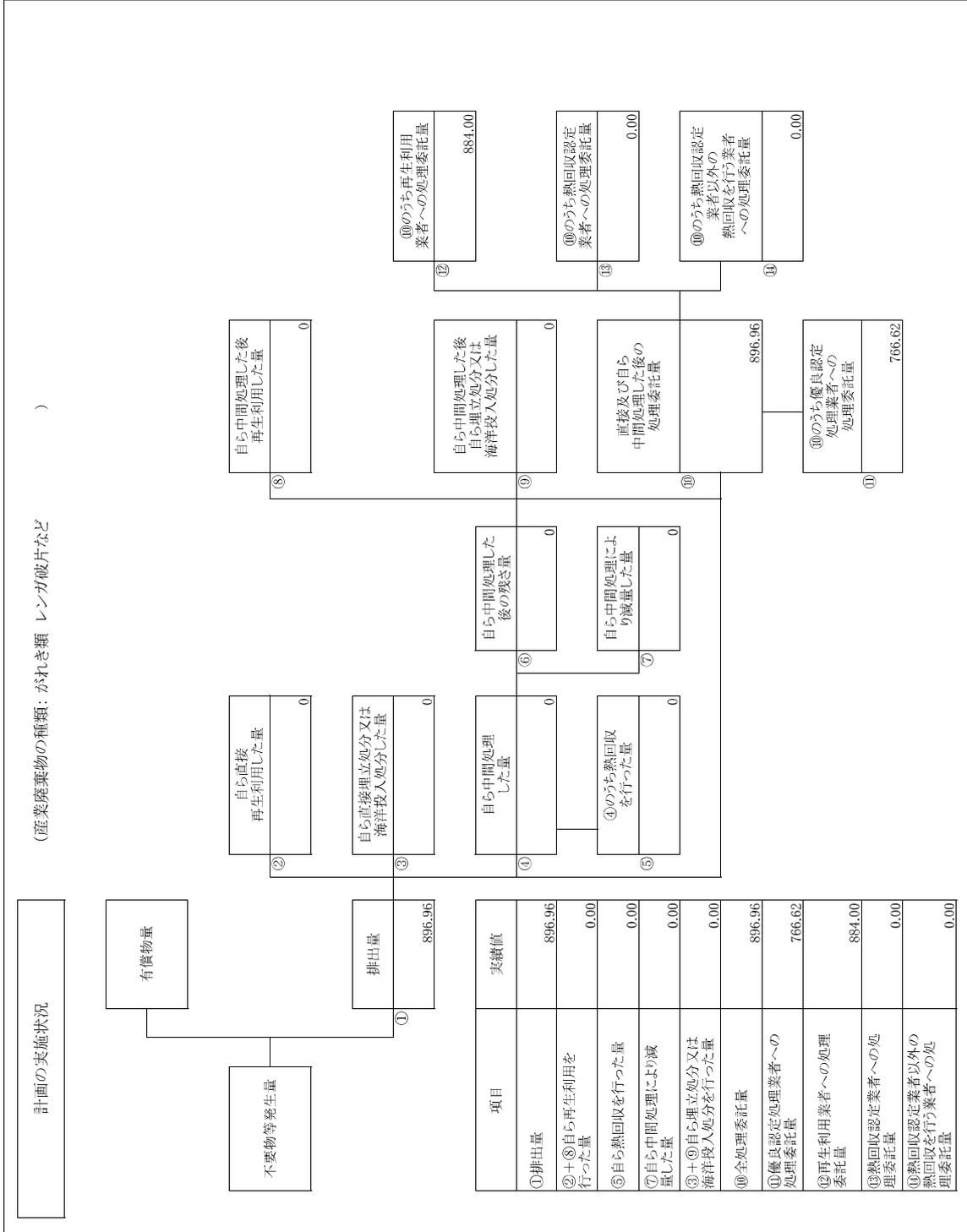
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00
--------------------	------

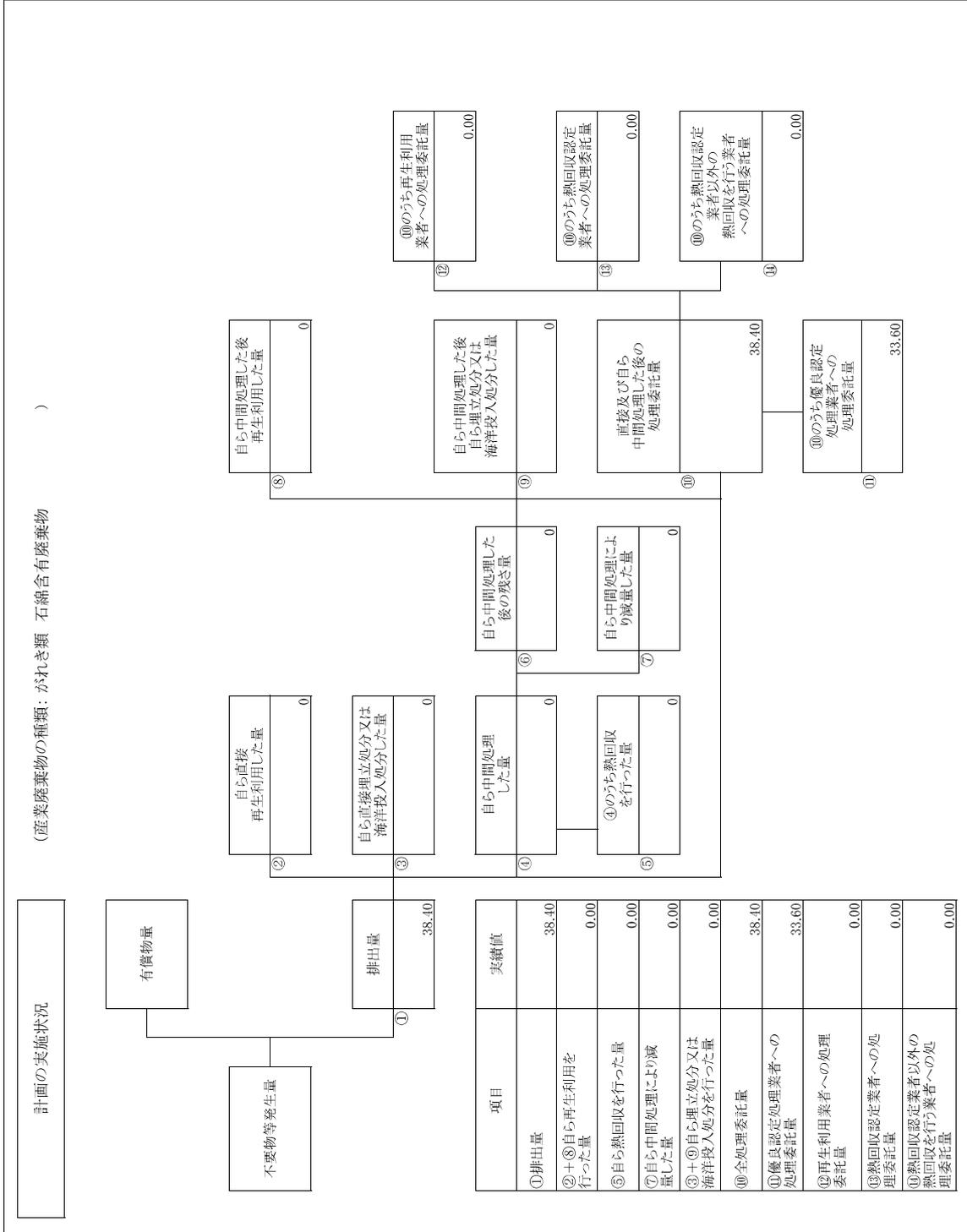
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00
-------------------------------	------

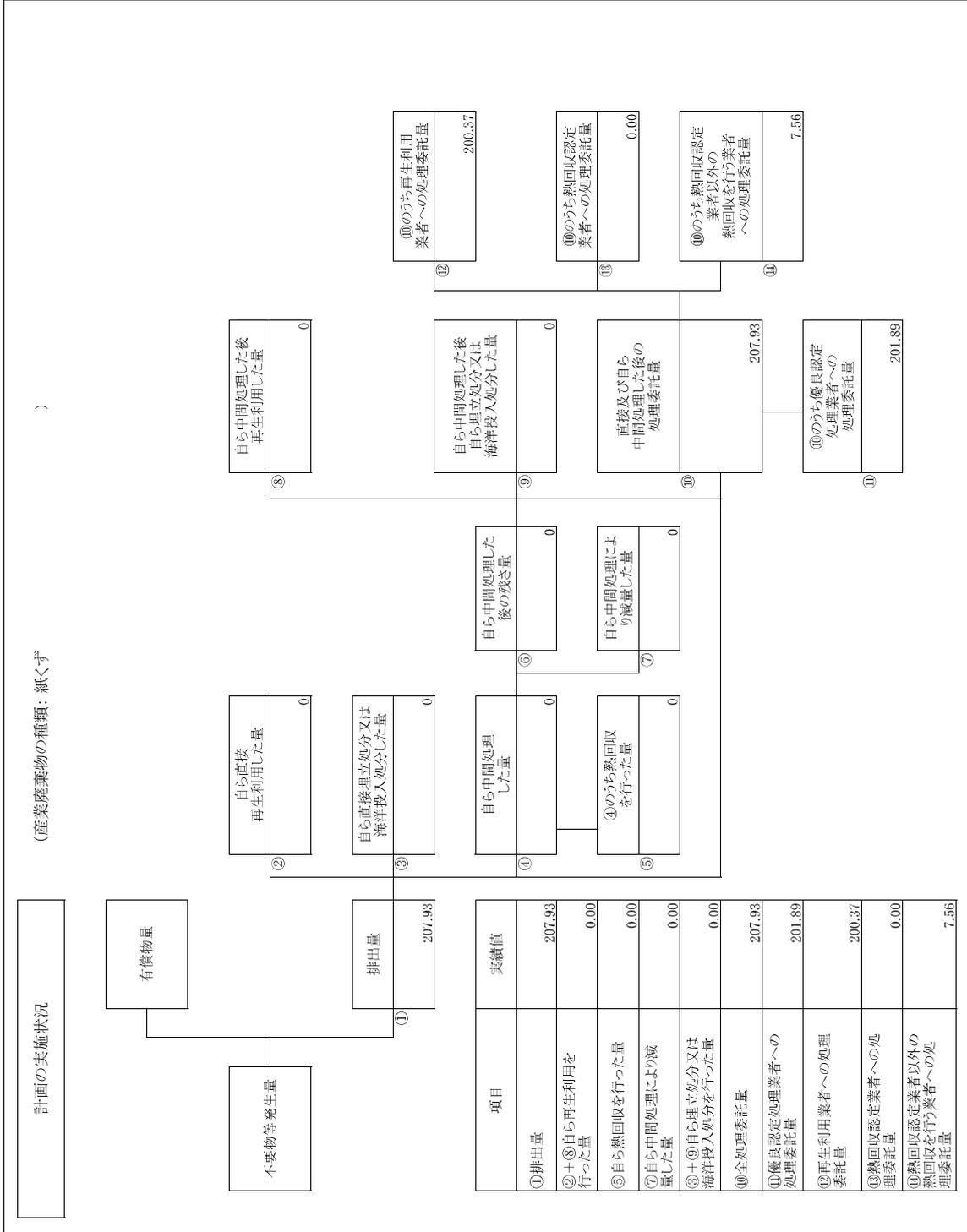
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	3.00
---------------------	------

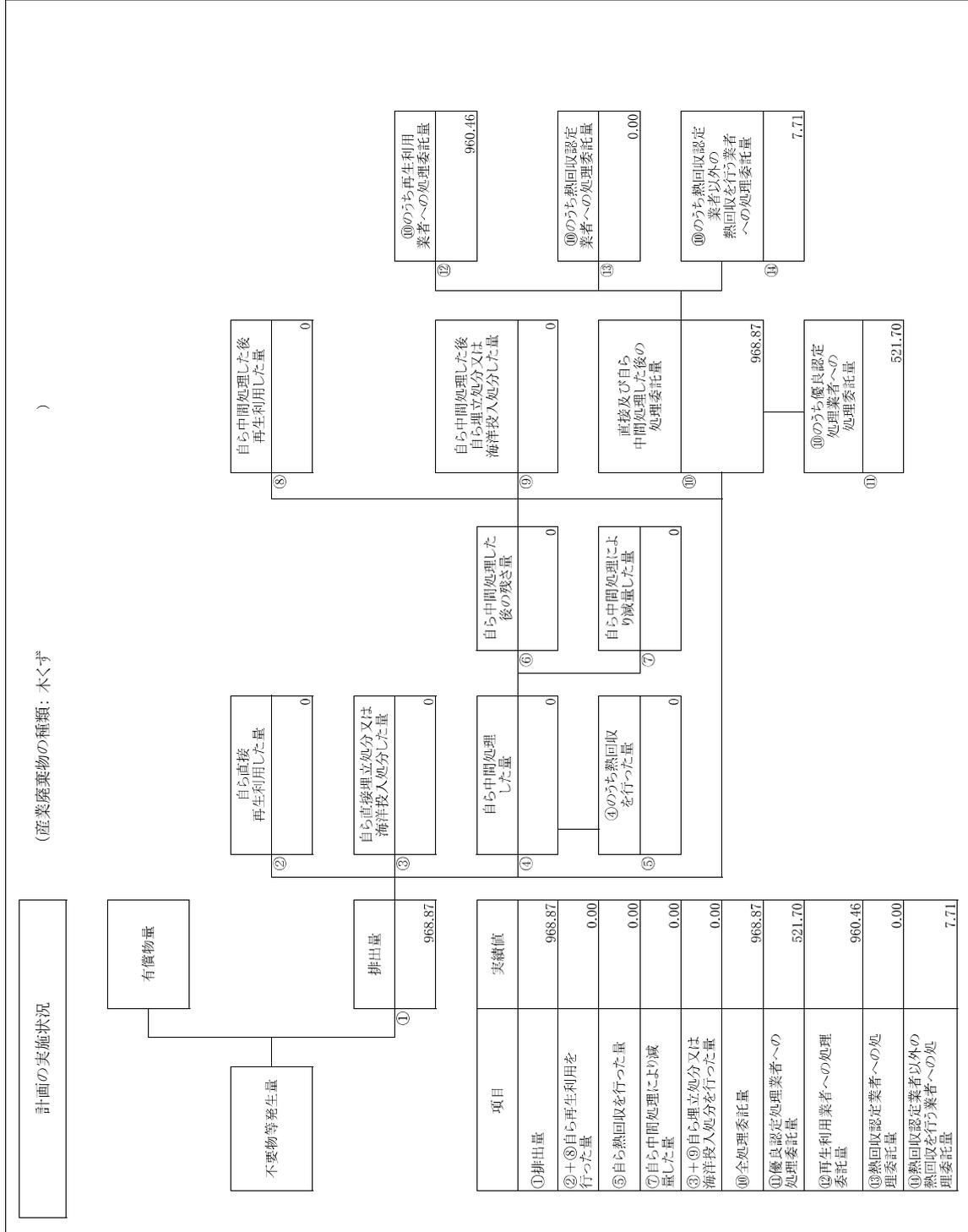




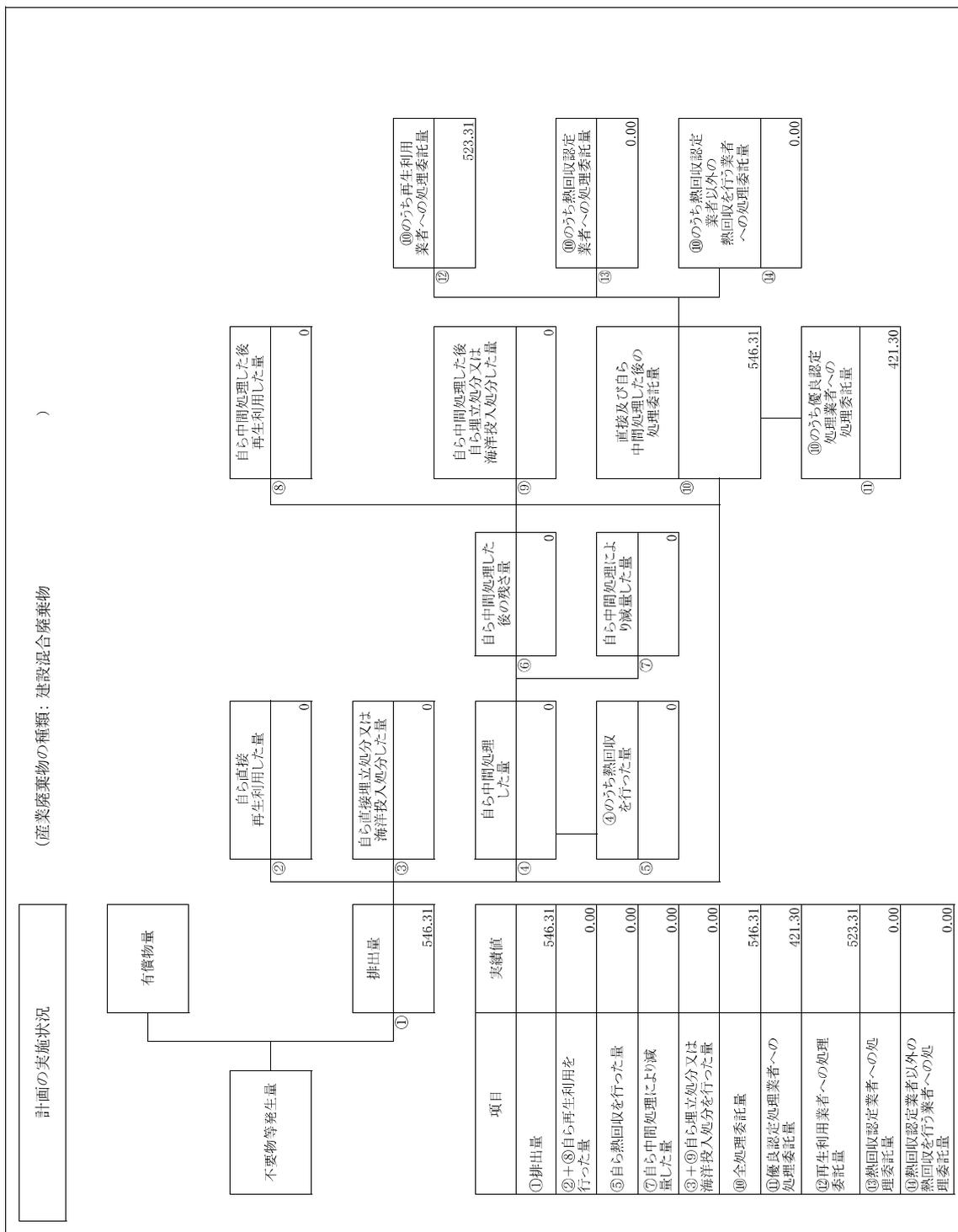










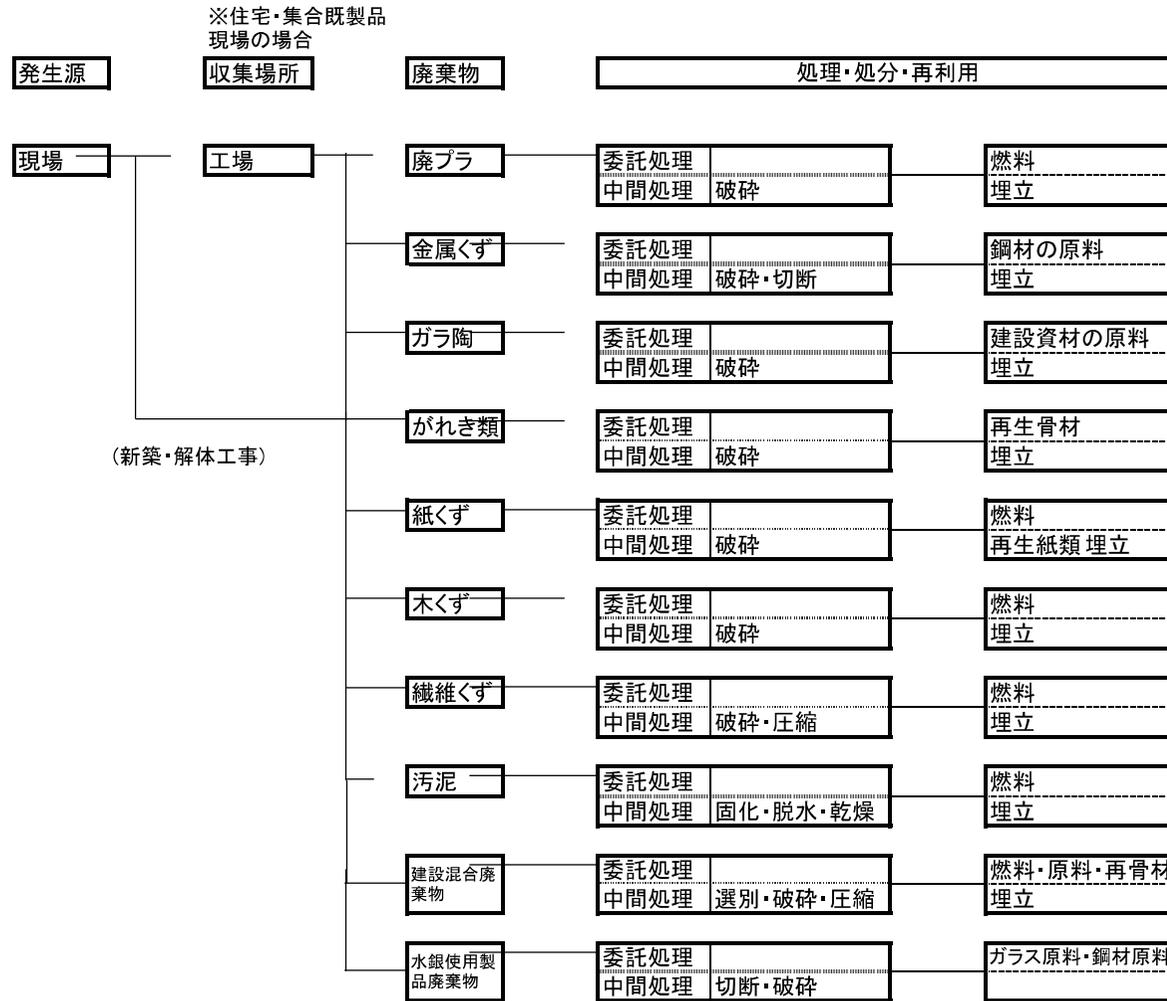


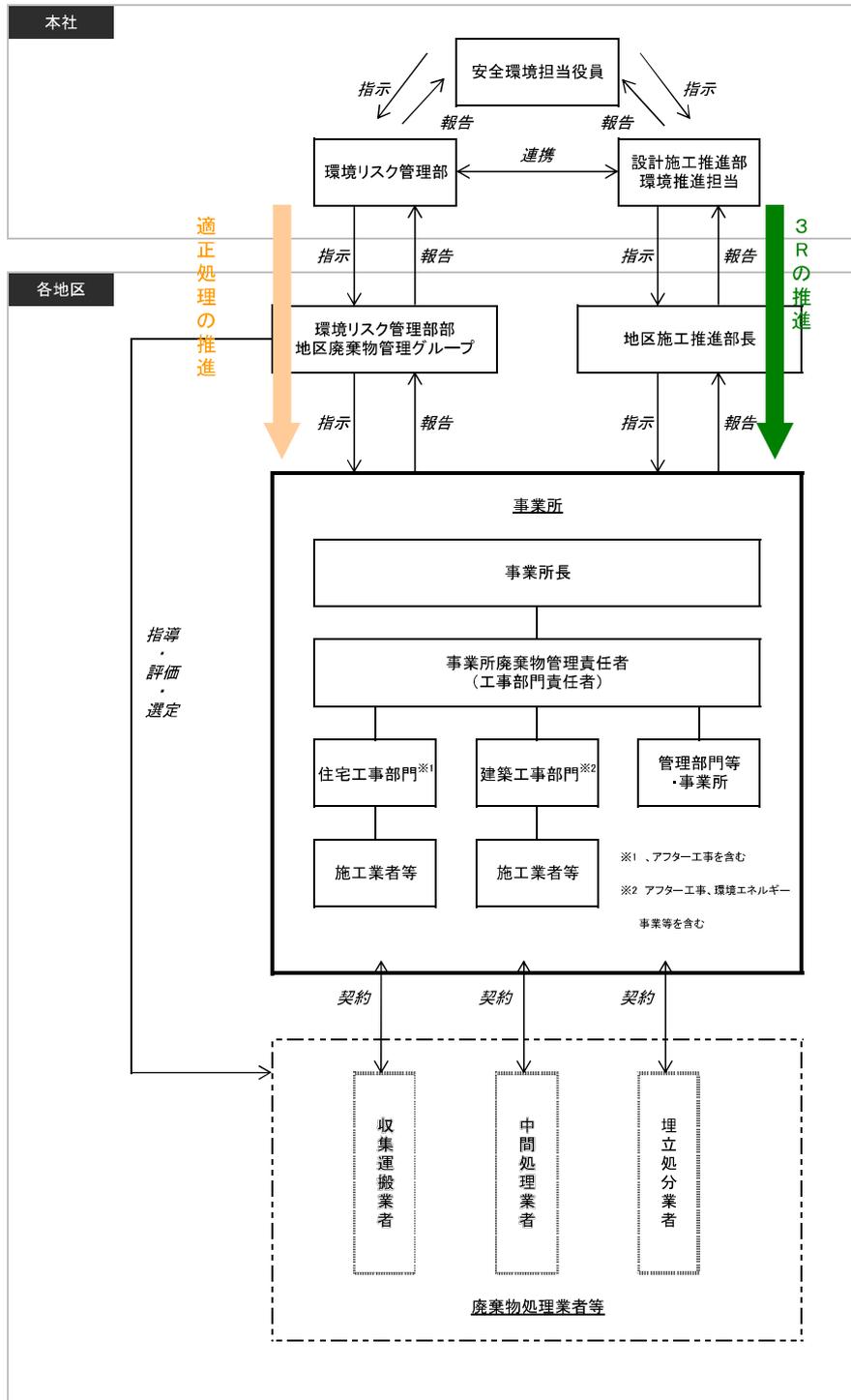
(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

### 廃棄物処理フロー図





別表3

## ＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社工場出荷材においては製品化にして出荷</li> <li>現場調達材のプレカットにて出荷</li> <li>給水管のプレ加工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品化された部材の採用に努める</li> <li>現場調達材はプレカット化の精度を高める</li> <li>梱包レス化の推進で排出抑制を図る</li> <li>通い箱等での梱包レス化</li> </ul>
金属くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>有価物として鉄鋼原料とする処分業者に委託している</li> <li>基礎鉄筋のプレ加工</li> <li>電気配線のプレ加工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料化業者に処理委託し鉄鋼原料としてマテリアルリサイクルしていく</li> </ul>
ガラス陶磁器等くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>外壁窯業サイディング材のプレカットで出荷</li> <li>石膏ボードをメーカー工場よりプレカットにて出荷</li> <li>瓦材のプレ加工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なるプレカット納入物件を計る</li> <li>通年実績でのロス率見直しでのカット精度向上をはかる</li> </ul>
コンクリート片	<ul style="list-style-type: none"> <li>注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる精度アップを図る</li> </ul>
廃アスファルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>注文時の依頼数量精度を高め過不足が無いようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる精度アップを図る</li> </ul>
レンガ破片等		
紙くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>専ら業者等の委託契約を締結し再生利用をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専ら業者等の委託契約締結を促進して更なる再生利用をする</li> </ul>
木くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社工場出荷材はプレカットにて出荷</li> <li>現場調達材のプレカットにて出荷</li> <li>梱包材のリターナブル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なるプレカット化の精度を高める</li> <li>ロス率見直しによる精度向上を図る</li> </ul>
繊維くず		<ul style="list-style-type: none"> <li>藁タタミの採用を極力避けてスタイロタタミを採用する</li> </ul>
石綿含有産業廃棄物	事前調査で適正処理の推進	事前調査精度向上による適正処理の継続
建設汚泥		
建設混合廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る
水銀使用製品廃棄物		解体現場での分別精度の向上推進を図る

別表4

## ＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・単品袋詰め	・発泡スチロールの分別をする ・PPバンド等、リサイクル可能な分別品目を増やしリサイクル率向上を図る
金属くず	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積	・金属くず、非鉄金属に分別する
ガラス陶磁器等くず	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積 ・石膏ボードは専用袋に袋詰め	・リサイクルするための用途を検討 ・石膏ボード 雨に濡らさない保管施設の確保
コンクリート片	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積	・他品目 異物等混入の根絶
廃アスファルト	・切断し、単品袋詰め 又はコンテナに単品集積	・他品目 異物等混入の根絶
レンガ破片等	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
紙くず	・ダンボール類は紐で縛る ・その他紙くずは、単品袋詰め	・雨に濡らさない保管施設の見直し ・雨に対して養生仕方の検討
木くず	30cm以下に切断して単品袋詰め	長尺物の再利用検討
繊維くず	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
石綿含有産業廃棄物	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み	解体工事でのレベル3成形板は極力原形のままでの撤去による分別解体の取り組み
建設汚泥	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う	行政指導の元、成分分析等で残土受け入れ先の選定を行う
建設混合廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底
水銀使用製品廃棄物	解体現場での分別の徹底	解体現場での分別の徹底

別表5

## ＜産業廃棄物の処理の委託に関する事項＞

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社独自の委託基準に従って認定された業者に委託する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続していく</li> </ul>
金属くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に適正処理が行なっているか処理委託先の現地審査を安全管理部廃棄物グループと同行して実施している</li> </ul>	
ガラス陶磁器等くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先 処理系統の見直し</li> </ul>	
コンクリート片	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬許可書、車両一覧表、処分業許可書の有効期限を点検</li> </ul>	
廃アスファルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理後発生する廃棄物や製品の処理委託(売買)契約を適切に行っているか。</li> <li>・マニフェストの回収・返送を適切に行っているか。</li> </ul>	
レンガ破片等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理施設の管理状況（施設・車両の点検状況）</li> </ul>	
紙くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の教育状況</li> </ul>	
木くず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の地域社会との交流の取り込み</li> </ul>	
繊維くず		
石綿含有産業廃棄物		
建設汚泥		
建設混合廃棄物		
水銀使用製品廃棄物		